

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2000-290307(P2000-290307A)

【公開日】平成12年10月17日(2000.10.17)

【出願番号】特願2000-91073(P2000-91073)

【国際特許分類第7版】

C 08 F 2/18

C 08 F 2/26

C 08 F 4/00

C 08 F 4/40

C 08 F 14/06

C 08 F 259/04

C 08 J 9/10

C 08 L 27/06

C 08 L 51/06

【F I】

C 08 F 2/18

C 08 F 2/26 Z

C 08 F 4/00

C 08 F 4/40

C 08 F 14/06

C 08 F 259/04

C 08 J 9/10 C E V

C 08 L 27/06

C 08 L 51/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月24日(2004.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粒子中に少なくとも一種の有機溶媒に可溶な有機溶媒可溶開始剤を含む第1の種ポリマー(P1)と、粒子の平均粒径が第1の種ポリマー(P1)の平均粒径よりも小さい第2の種ポリマー(P2)と、水と、アニオン乳化剤と、可溶性金属塩と、還元剤との存在下で、金属塩/有機溶媒可溶開始剤のモル比を0.09以下にして、対応するモノマーをマイクロ懸濁液重合させ、その際に重合反応を少なくとも一種の水溶性開始剤の存在下で行って、平均粒径がそれぞれ0.9~1.3μmおよび0.15~0.3μmで、平均粒径が大きい方の粒子群に対する平均粒径が小さい方の粒子群の重量比が0.4~0.7となる2つの粒子分布群を含む塩化ビニルのホモポリマーまたはコポリマーのラテックスを製造する方法。

【請求項2】

水溶性開始剤が過硫酸アンモニウムである請求項1に記載の方法。

【請求項3】

第1種ポリマーに対する第2の種ポリマーの重量比を0.7~1.8にする請求項1または2に記載の方法。

**【請求項4】**

還元剤がアスコルビン酸またはアルカリ金属のメタ重亜硫酸塩である請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項5】**

請求項1～4のいずれか一項に記載のラテックスをベースにしたプラスチゾル。

**【請求項6】**

優れた気泡品質を有する請求項5に記載のプラスチゾルをベースにしたフォーム。